



こんな仕事です

船の外板や内壁などに塗料をぬり、きれいに仕上げる「船のペンキ屋」です。塗装は家の壁やプラモデルなどでも必要ですが、船の塗装は一味違います。単に色をぬるだけでなく、海藻の付着や海水によるサビなどから船を守る重要な役割があります。現場監督として工程管理や作業員への指示を出す仕事です。



船体表面を色鮮やかに塗り上げていく



パーツや用途に応じて様々な塗料を使い分ける

小山工業(株)

有明事業所

船の塗装は
スケールも別格!

現場作業を
管理する仕事です



船の寿命を延ばす塗装技術 安全な航海支える「船のペンキ屋」

船体塗装を手がける小山工業株式会社(有明事業所)。船の塗装には、単に見た目をきれいにするだけでなく、安全な船旅を支える重要な役割があります。そんな船の命にかかわる仕事には、どんな魅力があるのでしょうか。



1,2.「塗装」と一口に言っても、作業は多岐にわたる。表面の洗浄のほか、サビや凹凸をなくしたり、塗料のノリ(密着)をよくしたりする下処理も。熟練の手技が必要で、厳格な品質検査に受かって初めて船の一部になる

3.工場内で塗装したブロックは、屋外へ運んでつなぎ合わせる。こうして徐々に船の形ができて上がっていく

会社情報 Company profile

会社名	小山工業株式会社
業種	船舶塗装
代表者	代表取締役 小山 武夫
会社住所	〒869-0113 熊本県玉名郡長洲町有明1番地
社員数	130名
平均年齢	40歳



採用情報 Recruit information

職種 職務内容	船舶製造に係る各種業務 (プラスト、塗装、取付、溶接作業)
勤務地	熊本県玉名郡長洲町有明1番地(有明事業所内)
勤務時間	8:00~17:00
給与	当社規定
休日	週休2日制
各種手当	
保険等	雇用保険・労災保険・健康保険・厚生年金・退職金制度
応募資格	ハローワークにて参照
応募方法	ハローワークにて参照
問合せ先	小山工業株式会社有明事業所 所長 山口 TEL: 0968-78-2277

突撃ライターが
ずばり所長に聞いた！

小山工業(株)有明事業所はどんな会社？

社員も取引先も。 チーム一丸の塗装集団

入社したら、どんなことができるのか。会社はこれから、どんな未来へ向かっていくのか。全国各地の仕事や暮らし取材してきたライターが経営陣を直撃しました。



1.2.屋外での作業は、晴れた日は開放的。美しくムラのない仕上がりを実現するために、職人たちが丁寧に施工する 3.現場作業員との息を合わせた共同作業が欠かせない

現場作業員との共同作業

小山工業の本体は大阪にあり、そこでは主にエンジン関係の溶接や取り付けを手がけています。ただ、会社の主軸は有明事業所が担う船体の塗装です。主な任務は、作業現場の管理・監督です。山口哲也所長によると、現場作業を担う下請け業者は10社を超えるそう。多くの現場作業員を束ねながら、大きな仕事を成し遂げられる達成感があります。

30~40代のリーダーが活躍

一方でそれは、チームをまとめ上げて1つの方向に進めていく、そんなマネジメントの力が求められることを意味します。「オーナーさんの要望を作業員にうまく伝えるためのコミュニケーション、そしてスケジュールなどを管理しながら実行する調整力が大事」と山口所長。

入社後はまず現場で経験を積み、力をつけてから現場を管理・監督するポジションにステップアップしてもらおう道筋を描いているそう。現在、工場内

での船体塗装を手がける「塗装足場」チームと、屋外で船体ブロックをつなぎ合わせる「総組」チームの責任者は、それぞれ40代と30代の脂が乗った男性社員。2人とも現場で塗装技術を磨き、今は会社に欠かせない戦力として活躍しています。

「管理・監督の仕事は責任が大きく、きつとプレッシャーもあるはずですが、でも、それを乗り越えていいモノを完成させたときのやりがいは大きいんです」と、山口所長は話します。責任とプレッシャーを力に変えて、成長できる環境がここにはあるのです。

社員とのコミュニケーションを大事に

そんな山口所長自身も、若い頃から造船の世界で主に溶接の仕事に打ち込んできたそう。途中で一度、業界を離れて営業の仕事をしていた時期もありましたが、むしろその経験が今に活かしているといいます。所長という立場上、取引先をはじめとする関係者と交流する機会が多くあるそうですが、持ち前の軽快なコミュニケーションで意気投合。取引先や協力会社などとのそうした日頃の良好な

関係は、繁忙期に作業員を融通し合うなど現場のスムーズな作業につながっている面もあるそうです。

そんなコミュニケーションの重要性は、社員との信頼関係を構築するうえでも欠かせないもの。日々、社員を意思疎通を重ねながらそして、社員とのコミュニケーションもとても大事にしているそうです。

「社員たちが働きやすい環境をどうすればつくれるか。そのことを常に考えます」と、山口所長は話します。責任とプレッシャーを力に変えて、成長できる環境がここにはあるのです。それが私の役目です」と力強く語ってくれました。



有明事業所 所長 山口 哲也

社員が
本音で語ります

ここに仕事のやりがい、あります

01 塗装一筋、約15年。地元・有明で過ごす今ブロックをつなぎ合わせる「総組」リーダー

工場内で塗装したブロックをつなぎ合わせ、徐々に船の形に仕上げ上げていく「総組」の責任者を任されています。作業員に指示を出しながら、工程を管理するのが主な役目です。振り返れば、造船の塗装一筋、約15年になりますね。生まれ育ったのは有明ですが、最初は県外に出て、下関(山口県)や津(三重県)など各地の造船所を渡り歩きました。いろんな現場を駆け回りましたが、あるときから地元に戻ってゆったり過ごそうと思うようになったんです。小さい頃から、決して船やモノづくりに特別な思いがあったわけではありません。ただ、ここまで長く続けているわけですから、性に合っているのかもしれないですね。



工程管理は決して簡単ではありません。屋外での作業になるので、天候にも左右されます。いつも天気予報とにらめっこしていますよ。それでも、最終的には納期に間に合わせないとはいけません。調整は一筋縄ではいきませんが、それがおもしろいところでもあるんです。思い通りに作業が進み、納品先に満足いただけたときは、素直にうれしいですよ。

責任ある立場ですが、有給休暇も含めてしっかり休日は確保できます。造船所の仲間たちと、よくツーリングに出かけていますね。地元はやっぱり落ち着きます。今は公私ともに、とても充実しています。(30代男性)

02 現場管理の鍵は、コミュニケーション3児の父、休日は子どもたちとバスケット

造船の世界に入って、もう20年近くになります。以前は鉄塔関係の電気工事に携わっていたんですが、兄が造船の仕事をしてたこともあり、もともと馴染みがあったんです。現在は、工場内で船体ブロックを塗装するチームのリーダーとして働いています。最も大事にしていることの1つは、コミュニケーションですね。



私の役目は、船のオーナーさんと現場の作業員さんとの間に入って、塗装のクオリティやスケジュールなどを管理すること。オーナーさんによって求めるグレードは異なり、それを作業員のみなさんに伝え、しっかり理解してもらわないとうまくいきません。お互いの緊密なコミュニケーションが、鍵を握るんです。

決してうまくいくことばかりではありませんが、私は難しい案件ほど燃えるタイプなんです。苦労した分、オーナーさんに満足いただけた瞬間の喜びは大きいですね。現場の作業員さんはみんな協力的なので、いつも助けられていますよ。

最近は、福利厚生を大事にしている若い子が多い印象です。ここは例外的に忙しいときを除けば、普段は定時で退社でき、残業も少ないですよ。私自身は、休みの日は小学生の子もたちとよく遊んでいます。子どもはバスケットボールのクラブチームに所属しています。私もかつてバスケットをしていたので、一緒に練習したり、試合を観戦したりしていますよ。(40代男性)

ある職員の1日よ
スケジュール

- 07:00 起床
- 07:45 出社
- 08:00 午前作業 体操
- 10:00-10:05 休憩
- 12:00 午前終業
- 13:00 午後作業
- 15:00-15:15 休憩
- 16:45 構内片付け 清掃
- 17:00 午後終業
- 18:00 帰宅

こんな人に
ぴったりの仕事です！

コミュニケーション能力を
生かしたい人

細やかな作業が
得意な人

現場監督など
責任あるポジションで
働きたい人

体力に
自信のある人

福利厚生が
整っている会社で
働きたい人



こんな仕事です

船に搭載する様々な装置や設備を取り付ける機装（ぎそう）工事。大型装置の取り付けのほか、操舵室や船員の部屋などの居住スペースの工事も行います。また、船だけでなく造船所内の工場や施設の建築工事を手がけることも。安全な航海や船員の快適な生活を支える「海の建築屋」「船の大工」です。



イカリを巻き上げる「ワインチ」の取付作業



小さなネジ一本に、職人魂を込める

創業80年、豊富な施工実績！ 未経験、若手も大歓迎！

花谷建設(株)

有明支店



陸海を駆け回る建築プロ集団 社員・家族と歩む創業100年への道

大阪市に本社を置き、陸海の幅広いフィールドで様々な建築工事を手がける花谷建設株式会社。有明支店では、主に船舶装置の取り付けや船の居住区内の工事などを行っています。そんな「海の建築屋」の仕事に迫ります。



1.船の居住スペースの工事の様子。工場内でドアや階段、配管などを取り付け、その後船に搭載していく

2.未経験者でも、中堅・ベテラン社員がマンツーマンで指導してくれるから安心

3.船内の内装工事を手がける様子は、まさに「船の大工」そのものだ

会社情報 Company profile

会社名	花谷建設株式会社
業種	船舶関連 総合建築
代表者	代表取締役 花谷 尚嗣
会社住所	〒559-0024 大阪府住之江区新北島3丁目1番33号
社員数	108名
平均年齢	



採用情報 Recruit information

職種 職務内容	船舶施工管理等
勤務地	熊本県玉名郡長洲町大字有明1番地
勤務時間	8:00~17:00
給与	当社規定により
休日	週休2日制・年末年始 他
各種手当	家族手当・交通費等 教育制度あり
保険等	各種社会保険
応募資格	
応募方法	
問合せ先	

突撃ライターが
ずばり支店長に聞いた!

花谷建設(株)有明支店はどんな会社?

社員の「家族」も大事にする 将来安泰のアットホームな職場

入社したら、どんなことができるのか。会社はこれから、どんな未来へ向かっていくのか。
全国各地の仕事や暮らし取材してきたライターが経営陣を直撃しました。



過酷な航海に出る船員らのため、激しい海風に耐える頑丈な部屋をつくる大事な仕事を任されている。作業員は声をかけ合い、ハシゴやドアなどを共同作業で手際よく取り付けていく

USJを賞し切って「ファミリーフェスタ」

花谷建設は、本社を置く大阪をはじめとする関西地方を中心に建築工事を手がけ、施工実績はマンションやオフィス、病院、介護施設、結婚式場など多岐にわたります。2021年に創業80周年を迎えた歴史ある企業です。

有明支店が担う船舶居住区の構築工事は、新たな事業として1988年にスタートしました。現在は構築工事に加え、造船所内の工場や施設の建築工事なども任されています。

そんな有明支店を束ねる西出秀明支店長は、花谷建設一筋、約35年。大阪で長く建築の仕事に携わり、その後有明に赴任してきました。「当社は船だけでなく、建築工事も手がけている事業の幅広さが強みの1つです。そして、何よりうちはアットホームな会社なんです」と、チームワークのよさを口にします。それを象徴するのが、年に一度の「ファミリーフェスタ」です。人気テーマパーク「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン」(USJ)の広いパーティールームを賞し切って、社長をはじめとする経営陣や社員、その家族らが親睦を深める一大イベントです。参加人数は、なんと200人を

はるかに超えるそう。もちろん、有明支店のメンバーも参加し、USJのキャラクターのコスプレをして大盛り上がりするそうです。

ほかにも、有明支店では毎年のように慰安旅行に出かけているほか、社員同士の仲もよく、プライベートで釣りやゴルフを楽しむ人たちも多いといいます。

西出支店長は「実は、私も当社の事務員(当時)と結婚したんです。結婚式の仲人を先代の社長にやっていただいたのは、いい思い出ですね」と、自身の甘酸っぱいエピソードも明かしてくれました。そんな西出支店長の人柄にも、花谷建設のアットホームな雰囲気がいじみ出ているようでした。

1つの会社で長く働き続けるメリットとは?

ただ、有明支店の将来に話を移すと、遠端に力強い眼差しを向けました。「若い人に仲間に加わってもらい、どんどん成長して会社の将来を担ってほしいんです」と、西出支店長は力を込めます。現場を支えているのはベテラン作業員が多く、ちょうど今、その下の30~40代の中堅社員がめきめきと力をつけている段階のようです。近い将来、会



執行役員 有明支店長 西出秀明

社を支える存在になる中堅社員にも「さらにもう1段も2段も、ステップアップしてもらいたい」と発破をかけるとともに、さらに彼らを下支えする10~20代の若い世代も、新たな戦力として積極的に迎え入れたいそうです。

「最近転職を繰り返す人も多く聞きますが、1つの会社にとどまって、長くコツコツと働き続ければ、給料も順調に増えて安定した生活ができるはずです」と西出支店長。社員を家族のように大事にする会社だからこそ、その言葉に説得力がみなぎります。

そして、見据えているのは創業100周年です。若い人材を育て、社員・家族とともに将来を歩んでいきます。

社員が
本音で語ります

ここに仕事のやりがい、あります

01 「未経験でしたが、入社できて本当によかった」 家族のような一体感と仲間意識

船舶部の主任として、主に工程の段取りの指示や調整を任されています。入社7年目ですが、それまでは自動車整備などの仕事に携わりながら、県外を転々としていました。「地元で就職できたらいいな」と思っていたところ、ご縁があって採用してもらいました。これまでいろんな会社に勤めてきましたが、当社の最大の特徴はアットホームさです。社員旅行をはじめ、様々なイベントがあります。社員全員がファミリーのような雰囲気があるんです。

「自分も周りも輝くために」という、当社が掲げるキャッチフレーズがあります。どうすればお客様のお役に立てるか。私を含め社員みんなが、日々そんなことを考えながら仕事に打ち込んでいます。スポーツ経験者が多いこともあってか、そうやってみんなが「やるぞ!」と同じベクトルを向けて一丸になったときの雰囲気はすごいんですよ。

私自身、未経験でしたが入社できて本当によかったですよ。決して誰も知るような大きな会社ではありませんが、小さい会社だからこそそのよさがあります。若い人も安心して働けるはずですし、ぜひ仲間として一緒に働きたいですね。(40代男性)



02 安定の給料、ストレスフリー、子育て 女性もオペレーターとして活躍

鉄板を機械を使って切断するオペレーターの仕事を担当しています。重いものを持ち上げたりする大変な仕事に見えるかもしれませんが、機械の操作に慣れれば心配ないですよ。給料をはじめ、待遇がいいのはこの仕事の魅力の1つです。例えば、スーパーでパートで働くよりも安定した収入が得られます。(50代女性)

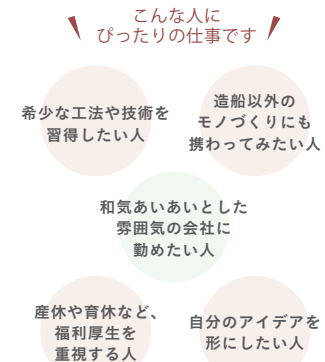
長くサービス業をしていたんですが、ここでは対人関係のストレスを感じることなく、自分のペースでコツコツと仕事に集中できるのがいいですね。サービス業と違って、お盆や年末年始などにまとまった休みをとれるのも魅力です。(50代女性)

まだ入社して2年足らずで、仕事を必死に覚える日々ですが、だんだん機械の操作には慣れてきました。同じ女性の先輩方がいるのは心強いですね。みなさん、やさしく丁寧に教えてくれます。育ち盛りの子供がいるので、そのためにも早く一人前になると毎日一生懸命です。(30代女性)



03 新卒で入社。高校の先輩を追いかけて

高卒で入社し、現在3年目です。同じ高校の先輩が働いていたこともあり、安心して入社を決断できました。今担当している仕事は、船の居住区内の工事です。まだ不慣れなところもありますが、先輩が丁寧に教えてくれるので心強いですね。(20代男性)



ある職員の日々
スケジュール

- 07:00 起床
- 07:45 出社
- 08:00 午前始業
体操
- 10:00-10:05 休憩
- 12:00 午前終業
- 13:00 午後始業
- 15:00-15:15 休憩
- 16:45 構内片付け
清掃
- 17:00 午後終業
- 18:00 帰宅

(株)平田商会

有明事業所



建築の技術を造船塗装に 海をまたぐペイント集団

船内に設置する艦装（ぎそう）品の塗装を行っている株式会社平田商会（有明事業所）。建築分野で長年培った塗装技術を、造船の世界でもいかになく発揮。若き所長のもとに集まった、ベテラン職人たちの熟練技に迫ります。



1.2. 塗装とともに、きれいに磨き上げる研磨作業は機械を当てるときの角度や力加減などがポイント

3. 船に設置するらせん階段の塗装作業。カーブの多い複雑形状だが、隅々まできれいに塗り上げていく



こんな仕事です

船内に取り付ける手すりや階段などの艦装（ぎそう）品を塗装する仕事です。映画や舞台で使われる小道具のように大小様々なパーツがあり、刷毛（はけ）やスプレーなどを使ってきれいに仕上げています。滑らかな手触り、鮮やかな色使いはまさに芸術品。腕一本で、船をピカピカに見せる職人になります。



刷毛を使って隅々まで丁寧に塗装



サビの防止など、用途によって様々な塗料がある

会社情報 Company profile

会社名	株式会社 平田商会 有明事業所
業種	建築業・製造業
代表者	代表取締役 平田 一伊
会社住所	〒869-0113 熊本県五木郡長洲町有明1番地
社員数	12名
平均年齢	41歳



採用情報 Recruit information

職種 職務内容	設備塗装/艦装品塗装/取付
勤務地	ジャパンマリンユナイテッド有明事業所内
勤務時間	8:00~17:00
給与	当社規程により年齢、経験考慮のうえ決定(時給1250円スタート~1700円)
休日	週休2日制
各種手当	
保険等	社会保険
応募資格	特になし
応募方法	担当者へ直接電話（メールでも可）
問合せ先	株式会社平田商会 担当 大隈（オオクマ） TEL：080-5664-2192

突撃ライターが
ずばり社長に聞いた！

(株)平田商会有明出張所はどんな会社？

チャレンジ精神と若手育成を柱に成長

入社したら、どんなことができるのか。会社はこれから、どんな未来へ向かっていくのか。全国各地の仕事や暮らし取材してきたライターが経営陣を直撃しました。



1.凹凸をなくし、滑らかなカーブをつくるには熟練の技が必要 2.スプレーを噴射し、全体をムラなくきれいに仕上げる 3.塗装を終えたパーツは、次々と船に取り付けられていく

住宅塗装から造船の世界へ

平田商会の社は愛媛県今治市にあり、住宅やオフィス、鉄塔や橋などの塗装や防水工事などからスタートしました。そして、事業領域を拡大しようと新たに有明事業所を開設し、本格的に船の塗装を始めたのです。有明事業所が塗装を手がける機器・部品は、船内に取り付ける手すりや階段など多岐にわたります。

現在、そんな有明事業所を任されている大徳健次所長も、もともとは愛媛の本社勤務だったそう。ただ、住宅塗装などのほかにも、当時から造船所内で船の塗装も担当していたようで、現場での塗装歴は約20年に上るといいます。「色を使ってきれいに塗り上げていく作業は楽しいですよ」と職人の顔もよく作れます。

「現場経験が長いので、作業員のことはよくわかっていっているつもりです。現場の社員が働きやすいように、いろいろ工夫していますね」と大徳所長。年齢も30代と若く明るい性格で、いつも笑顔を振りまいて現場を明るく盛り上げているよ

うです。そんな大徳所長について、ある社員は「距離が近く、話しやすい」と話します。

「ドローン点検」など新分野を開拓

長く現場で腕を磨いてきた大徳所長ですが、「集中して黙々と作業に没頭するのが好きな人、几帳面で手先が器用な人などは、特にこの仕事に向いていると思いますね」と、新たな仲間を歓迎しています。未経験でも心配することはない、実際に入社間もない若手社員は、先輩の指導で技術をどんどん身につけているそうです。

住宅塗装などから新たに造船業界に参入したように、平田商会には「新しいことに挑戦しよう」という文化が根付いているそう。

最近では、「ドローン点検」もその1つ。これは、例えば住宅の屋根の状況をチェックするときに、これまでは作業員が屋根の上に登って目視で確かめていたようですが、ドローンを飛ばして上空からチェックすることで、作業の安全性や効率性を高めようという試みです。

会社に根付く挑戦の気風

住宅やオフィスの塗装・防水工事から船体部品の塗装、そしてドローン点検などと、次々と新しい分野を切り拓いてきた平田商会。「この会社には、時代のニーズに合わせて新たなビジネスの可能性を模索していることにチャレンジしようというマインドがあるんです」と、大徳所長は改めて力を込めてそう話します。言い換えればそれは、働く社員にとってはやる気や意欲があれば、新しい技術をどんどん身につけて、成長できるチャンスがあるということでもあります。船が大海原を航海するように、平田商会も明るい未来へ突き進みます。



有明事業所長 大徳健次

社員が
本音で語ります

ここに仕事のやりがい、あります

01 「事務」と「現場作業」の二刀流 初心者の女性も安心の職場環境

ここで働いている幼馴染みの紹介で、事務員として入社しました。職人の世界は男性が多く、厳しいイメージを持たれるかもしれませんが、まったくそんなことはありませんでしたね。みんな和気あいあいと楽しそうに仕事をしていて、明るい雰囲気の良い会社ですよ。

普段は事務の仕事が中心ですが、作業服に着替えて現場の塗装作業を手伝うこともあるんです。無理にお願いされたわけではなく、私から「興味があるんですけど…」と伝えてみたのがきっかけです。



事務と塗装作業は180度違うよう見えるかもしれませんが、だからこそフレッシュでできて楽しいですよ。現場に行くときは、いつも「よし！」と気持ちのスイッチを入れ替えて向かっています。先輩社員も温かく迎え入れてくれて、やさしく教えてくれるので助かっています。

現在3歳と5歳の子どもの子育てをシングルマザーでもあります。子どもたちのために一生懸命、そして何より楽しく、ここで働き続けたいですね。(20代女性)



02 「職人の厳しい世界」は勝手な思い込みだった 親切な所長や先輩に囲まれ、若手も成長

現在、入社4年目です。以前の仕事は、工場のライン作業でした。転職するとき、最初に「塗装」と聞いて思い浮かんだのは、厳しい職人の世界というイメージでした。今だからいえますが、最初は少し怖いイメージがあったんです。



でも、入ってみたら見事に覆されましたね。未経験だった私に、先輩方はみんなやさしく、1から丁寧に教えてくれます。おかげで、ずいぶん腕を上げられたと思います。この仕事をしていてやりがいを感じる瞬間は、イメージ通りに色をつけてきれいに仕上げられたときです。早くベテランの先輩たちに追いつけるように、もっと技術を磨いていきたいですね。

大徳所長とは年齢が近いこともあり、遠慮せず何でも言い合える関係です。もともと現場経験が豊富な人なので、私たち作業員が働きやすいようにいつも気を配ってくれています。会社全体の風通しのよさ、社員同士の距離の近さは、私たちの自慢できる場所ですね。(30代男性)



こんな人に
ぴったりの仕事です！

アットホームな
職場で
働きたい人

自分のペースで
集中して
仕事に打ち込める人

技術を磨き、
新しいことに
挑戦したい人

しっかりと
教育・指導を
希望する人

几帳面な性格を
活かしたい人

ある職員の1日よ
スケジュール

- 07:00 起床
- 07:45 出社
- 08:00 午前始業
体操
- 10:00-10:05 休憩
- 12:00 午前終業
- 13:00 午後始業
- 15:00-15:15 休憩
- 16:45 構内片付け
清掃
- 17:00 午後終業
- 18:00 帰宅

初心者や女性も活躍できる！

まるで巨大なプラモデルづくり！

三矢工業(株)



「ワンチーム」で世界に挑むモノづくり 海を舞台に輝く職人技

船体ブロック・パーツの加工切断、組立溶接などを手がける三矢工業株式会社。若手や女性からベテランまで、「ワンチーム」で世界を渡り歩く巨大な船を下支えしています。人を大事に育てる「人財」経営に迫ります。



1. 大小様々な部材をつなぎ合わせ、船に取り付けるパーツをつくっていく

2. 初心者でも、先輩が手取り足取り指導してくれるから安心だ

3. 工場全体を見回しながら、巨大な鉄板などを釣り上げ、運んでいる



こんな仕事です

船を形作る鉄製の大きなブロックや部品をつくる仕事です。設計図をもとに機械を使って鉄板を切断したり、切断した鉄板同士を組み合わせる溶接をしたり。例えるなら、それは巨大なプラモデルのパーツ製作。初心者から職人技を身につける人も多く、技術を磨けば将来にも役立つ仕事です。



図面データをもとに機械を自在に操作



細かい調整には人の手が欠かせない

会社情報 Company profile

会社名	三矢工業株式会社
業種	造船関連業
代表者	代表取締役 上村 司
会社住所	〒869-0113 熊本県玉名郡長洲町大字有明1番地
社員数	49名
平均年齢	34歳



採用情報 Recruit information

職種 職務内容	船舶製造に係る各種業務（加工、切断、取付、鉄工、溶接作業）
勤務地	熊本県長洲町大字有明1番地（JMU有明事業所内）
勤務時間	8:00～17:00 19:00～4:00
給与	当社規程により年齢・経験考慮のうえ決定
休日	週休2日制
各種手当	通勤手当・職務手当・役職手当
保険等	雇用保険・労災保険・健康保険・厚生年金・退職金制度
応募資格	18歳以上～（要相談）
応募方法	履歴書（要写真）・面接
問合せ先	三矢工業株式会社 担当 池田春清 TEL：080-2733-1360 熊本県玉名市業地955-23 TEL：0968-73-6299 / FAX：0968-73-7707

突撃ライターが
ずばり社長に聞いた！

三矢工業(株)はどんな会社？

世代を超えたチームワーク、 若手とベテランが融合

入社したら、どんなことができるのか。会社はこれから、どんな未来へ向かっていくのか。
全国各地の仕事や暮らし取材してきたライターが経営陣を直撃しました。



船を形作るパーツは、どれも巨大なものばかり。一人ひとりの熟練の技が合わさって、1つのパーツができ上がる。溶接は火の当て方や角度などを微妙に調整しながら、寸分の狂いもなく仕上げられる。

女性や若手社員も貴重な戦力に

「若くて未経験でも、意欲さえあれば仕事は順調に覚えられます。私たちはそのために、一人ひとりの個性やペースに合わせて丁寧に教育し、長い目で大事に育てるようになっているんです。そうやさしく語りかけるのは、上村社長です。

先代の跡を継ぎ、30代半ばという若さで経営のバトンを託され約15年(2021年11月現在)。「汚い・きつい・危険」といった造船の現場仕事につきまといがちなイメージを、少しずつ払拭しようと奮闘してきました。働きやすい職場環境の整備、安定した休日の確保、給与体系。そういった取り組みを経て、同社では現在、女性を含め20~30代の若い社員が貴重な戦力として数多く活躍しています。

「いいモノづくり」に必要なこと

そして、そんな上村社長が最も大事にしていることの1つが、チームワークです。「社員が仲良く、和気あいあいとした雰囲気やムードの中で力を合わ

せてこそ、いいモノづくりができるんです」と上村社長。
そんな上村社長の思いは現場の社員にもしっかり伝わっているようで、20代のある男性社員は「20~60代まで社員の年齢層は幅広いですが、若い社員も年配のベテラン社員も、上下関係なく仲良く働いていますよ」と話します。そして、それは職場の外でも同じ。飲み会や毎年恒例の社員旅行は盛り上がり、多くの社員が楽しみにしているそうです。

造船ならではのやりがいとは？

少子高齢化などによる人材不足は日本経済全体の大きな課題ですが、それは造船業界も同じです。

では、他の仕事では味わえない、造船業界ならではのやりがい、醍醐味はどこにあるのでしょうか。

「やはり、みんなで力を合わせて巨大な船をつくるという、モノづくりのスケールの大きさでしょう。一部とはいえ私たちが携わって完成した船は、食料や医薬品などを乗せて世界中を航海します。人の命や生活に欠かせない

ものを運ぶ、そんな船づくりを縁の下で支えているんです」。上村社長は、そう力強く語ってくれました。

上村社長の頭の中にはほかにも、例えば「女性だけのチームや班をつくり、男性たちと切磋琢磨することで、お互いに成長できるような環境をつくってもおもしろそうですね」といった構想もあるそう。

若くても、未経験でも、技術を身につけて成長できる職場に。そして、チームワークを活かしたモノづくりのプロ集団になるために、三矢工業の挑戦はまだ続きます。



代表取締役 上村 司

社員が
本音で語ります

ここに仕事のやりがい、あります

01 未経験の女性でも、安心して働ける

「これまで工場やとび職の仕事をしてきました。ここは先輩が親切に教えてくれるので、今までで一番働きやすいですね。未経験の女性でも、安心して働けると思っています。日本や韓国のアイドルが好きで、ライブに行ったりして息抜きしています」(20代女性)



02 ホテルマンから転身。自然の中で子育て

「前職はホテルマンでした。入社して10年以上経ち、班長として主に工程管理を任されています。小さな子どもが2人いるんですが、このあたりは自然が豊かで、家族とのびのび過ごせて快適ですね」(30代男性)



03 船の世界で20年。技術向上に終わりはなし

「入社して20年になります。その前は土木関係の仕事をしていました。今担当している溶接の仕事は、奥が深くてももしろいですよ。技術を磨くことに、終わりはありません。これからも追求していきたいですね」(40代男性)



04 上下関係なく、フランクな職場。恒例の社員旅行も

私の担当は、組立溶接の管理です。20~60代まで、年齢は関係なく、みんな仲が良いんですよ。飲み会は盛り上がりやすく、毎年恒例の社員旅行も楽しみの1つです。チームワークが私たちの持ち味ですね」(20代男性)



05 チーム一体のモノづくり。有給休暇にツーリングも

「仕事の醍醐味は、みんなで1つの船をつくり上げる、そんなチームワークを生かしたモノづくりです。有給休暇も取りやすく、休日はツーリングに出かけることが多いですね。阿蘇の大観峰は、絶景を味わえる最高のスポットですよ」(40代男性)



こんな人に ぴったりの仕事です！

チーム一丸となった
モノづくりに
興味のある人

手先が器用で、
黙々と作業に
打ち込める人

上下関係のない
フラットな職場で
働きたい人

人と
コミュニケーションを
とるのが好きな人

安定して
休みが取れ、
趣味の時間も
ほしい人

技術を磨き、
手に職を
つけたい人

ある職員の1日よ
スケジュール

- 07:00 起床
- 07:45 出社
- 08:00 午前始業
体操
- 10:00-10:05 休憩
- 12:00 午前終業
- 13:00 午後始業
- 15:00-15:15 休憩
- 16:45 構内片付け
清掃
- 17:00 午後終業
- 18:00 帰宅